

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 4)

団体名	(特非)YOU医療保健福祉研究所	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 足利 学
事業名	YOU“地域連携”のための研修会 ~多職種集まれ!~			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
5月14日	東りいたみホール 大会議室	18 (5)	第63回 『『描画表現から自分を理解する』 ~心理テストを活用して~ 講師：足利 学 会場：東りいたみホール 3階 大会議室
7月16日	東りいたみホール 大会議室	20 (5)	第64回 『その紙パンツ、本当に合っていますか?』 ~在宅現場で迷わない!排泄ケアの選択と実践~ 講師：堺谷珠乃 会場：東りいたみホール 3階 大会議室
11月30日	東りいたみホール 多目的ホール	57 #####	スピンオフ企画 YOU医療保健福祉研フォーラム2025 発達の特徴を知ると子育てがちょっとラクになる ~地域でつなぐ共生の輪~ 講師：高畑 脩平 座長：足利 学 シンポジスト：桶川 美智子,井上 真紀子, 中野 幸恵,田部井 健人 会場：東りいたみホール 地下 多目的ホール
2月20日	東りいたみホール 大会議室	24 (7)	第65回 『介護・医療現場を守る心理学』 ~カスハラ時代の“線の引き方”~ 講師：足利 学 会場：東りいたみホール 3階 大会議室

< 効果と成果 >

<p>今年度は、研修会63~65回およびフォーラムを対面形式で計4回開催した(講師や会場の都合により回数を調整)。外部からの総申込数は102名、当日参加を含む延べ参加者数は137名であった。</p> <p>参加者は、介護支援専門員、薬剤師、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、福祉用具専門相談員、看護師、理学療法士、作業療法士、生活支援員、保育士、施設管理者など多岐にわたった。</p> <p>アンケート(4段階評価)では、満足度3.76点、わかりやすさ3.82点、役立ちやすさ3.68点と高い評価を得た。</p> <p>数値以外の成果として、名刺交換や参加者間の交流が生まれ、実際の支援につながった事例もあった。対象者紹介や講師派遣へ発展したケースもあり、ネットワーク形成の具体的成果が確認された。</p> <p>フォーラムでは地域団体や行政担当者を交えたシンポジウムを実施し、意見交換と情報共有を行った。自由記述では多職種での事例検討会や継続的な交流を求める声が多く、当法人の別事業への参加にもつながっている。会場ではキッズスペースも設置し、より聴講しやすい環境作りをつくることができた。</p>
--

< 今後の展望 >

これまでより多職種・地域住民の参加が広がり、顔の見える関係性は拡大した。SNSやAIを活用した広報や資料作成も行い、周知の工夫という成果も得られた。

一方で、単発型の研修では関係の深化や実践的な連携構築には十分つながりにくい課題が明らかとなった。研修会のための枠組みには限界があり、対話や関係形成に焦点を当てた機会の必要性が示された。

また、住民向けフォーラムであったが専門職の関心も高く、分野を問わず横断的に学び合う場への地域ニーズが確認された。

今後は知識提供型研修から対話・交流型の場へより発展させ、ゆったりと意見交換できる機会を創出する。併せて、継続的に集える仕組みを検討し、関係性が一過性で終わらない体制整備を図り、継続的な対話を通じて、多職種・住民が緩やかにつながる地域基盤の強化を目指す。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	1 6 6 , 0 0 0
自己資金等	1 2 , 4 8 4
合 計	1 7 8 , 4 8 4

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金	1 2 1 , 6 8 0	1 2 0 , 0 0 0
	会場費	4 5 , 8 0 0	4 5 , 8 0 0
	その他(0等)		
	小 計	1 6 7 , 4 8 0	1 6 5 , 8 0 0
間接経費(一般管理費)		1 1 , 0 0 4	2 0 0
合 計		1 7 8 , 4 8 4	1 6 6 , 0 0 0